

中断時間は10秒以上にならないようにします。



(失敗しても2回まで)

## ⑦胸骨圧迫と人工呼吸の繰り返し

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を救急隊やAEDが到着するまで繰り返します。

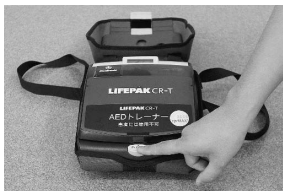
## AEDの使い方

AEDが到着したら電源を入れて、音声メッセージの指示に従います。

※AED(自動体外式除細動器)は、突然死の原因の一つとされる心室細動(心臓がけいれんを起こして血液を送るポンプの役割を果たせなくなる)を起こした人に、一時的に電気ショックを与えて心臓の動きを正常に戻す機器のことです。

### ①電源を入れる

AEDが到着したら傷病者の横に置き、電源を入れます。電源はボタンを押すものと、ふたを開けたら電源が入るものがあります。



### ②パッドを貼る

電源を入れたらパッドを袋から取り出しパッドに書かれている絵のとおり傷病者にしっかりと貼ります。パッド装着時の注意点は次のとおりです。

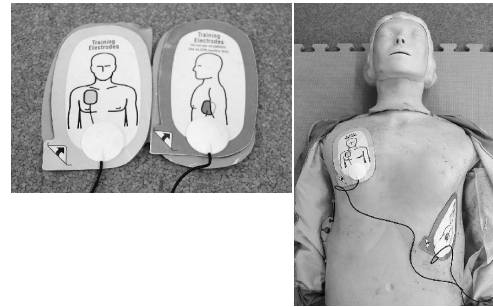
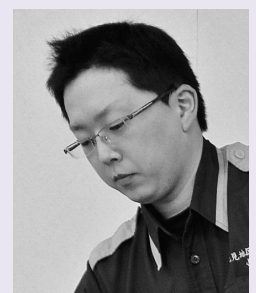
1. 傷病者が濡れている場合⇒タオルで拭く
2. 貼り薬がある場合⇒貼り薬をはがし、きれいに拭く
3. 医療器具が胸に埋め込まれている場合⇒出張りを避けて貼る

※機種によってはパッドを装着後、本体のケーブル差込口に差すものがあります。

一般的に、119番通報から救急車が現場に到着するまでには6~7分程度かかると言われています。心停止した人への処置が遅れると1分ごとに蘇生率が7~10%低下すると言われており、現場に居合わせた人が1分1秒でも早く対応することが大切な命を救うカギとなります。

緊急の事態に遭遇したときに適切な行動が取れるように、日頃から応急手当を学び、身に付けておきましょう。

北見地区消防組合置戸支署 警備団救急救助係 小松潤平さん



(心臓を挟む位置に)

### ③電気ショックの判断

パッドを貼るとAEDの解析が始まります。AEDの指示に従い「電気ショックが必要です」などの音声メッセージが流れた場合、自動的に充電を開始します。「電気ショックは不要です」などの音声メッセージが流れた場合はただちに胸骨圧迫に進みます。

### ④放電ボタンを押す

充電が完了すると、「放電してください」などのメッセージが流れるので、誰も傷病者に触れていないことを確認し、放電ボタン(点滅しているボタン)を押します。



離れてください!

### ⑤心肺蘇生とAEDの繰り返し

AEDは2分おきに自動的に解析を行います(電気ショックの判断)。以後、救急隊到着まで心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。救急隊到着までは普段どおりの呼吸をしはじめてもAEDのパッドははがさず、電源も入れたままにしておいてください。

置戸町内でAEDを設置している施設=置戸小学校、置戸中学校、置戸高校、こどもセンターどんぐり、秋田地区住民センター、境野公民館、勝山公民館、ファミリースポーツセンター、多目的交流施設げんき、おけとパークゴルフ場(夏季)、南ヶ丘スキー場(冬季)、地域福祉センター、特別養護老人ホーム緑清園、置戸赤十字病院、鹿ノ子ダム管理所、JAきたみらい置戸地区事務所、(有)丸富青果